

報道関係各位
プレスリリース

2024年12月16日
株式会社ゼロボード

ゼロボード、デロイト トーマツ リスクアドバイザーと アライアンス契約を締結

～ グローバルサステナビリティ開示規制への対応を包括的に支援 ～

企業のサステナビリティ経営を支援する株式会社ゼロボード（東京都港区、代表取締役：渡慶次道隆、以下 当社）は、デロイト トーマツ グループのデロイト トーマツ リスクアドバイザー合同会社（東京都千代田区、代表執行役：岩村篤、以下 デロイト トーマツ）とアライアンス契約を締結したことをお知らせします。



■ 締結の背景

SSBJ サステナビリティ開示、欧州 CSRD（域外適用含む）、米国 SEC など、昨今新たなサステナビリティ法定開示の適用が進んでおり、日本企業においても、国内・グローバルの両市場において、任意開示を中心とした従来の開示業務から、より広範で責任のあるサステナビリティ開示が求められてきています。また、欧州エコデザイン規則（ESPR）、バッテリー規則、炭素国境調整措置（CBAM）などを筆頭に、組織活動だけでなく、製造・販売している製品についても、製品バリューチェーン上の ESG データの収集・報告や、是正に向けた対策の義務も課せられ始めています。

このように、組織、製品の両軸にて、GHG（温室効果ガス）排出量だけでなく、水資源、生物多様性、循環経済、人的資本、人権、ガバナンスなど広範な ESG データ（任意開示の数千倍のデータポイント※）の取得・管理・開示を、第三者保証が可能な正確性と透明性を担保しながら推進していくことが必要となります。

これから多くのグローバル企業が直面するであろう、これらの課題の解決に向け、ゼロボードとデロイト トーマツは両社のケイパビリティを掛け合わせた価値提供を展開すべく、アライアンス契約を締結しました。

■ アライアンスによる提供価値

当社は、組織・製品の両軸で多種多様なデータを網羅的に収集・管理できる製品群の開発を進めてきており、それらを実現する「Zeroboard」、「Zeroboard ESG」、「Dataseed SAQ」、「Zeroboard for batteries」などのクラウドソリューションを提供しています。各規制やフレームワークの要件に沿ったデータテンプレートを搭載し、グループ会社のグローバル拠点やサプライヤーからの膨大なデータ収集・管理・レポートングを効率化するだけでなく、ガバナンスを効かせた運用を機能実装することで、各種開示・報告義務への対応を実現しています。

デロイト トーマツは、企業の ESG 経営の戦略、ガバナンス、事業計画、オペレーション、開示といった一連の活動を統合し、企業の内側からの変革を促進するため、「ESG データドリブン経営」を提唱し、その実践に向けたサポートを行っています。企業内の非財務情報の収集だけでなく、インテリジェンスツールを用いた社外の非財務情報のモニタリング、トレンド分析、シナリオのアップデートなどのサービスも提供しています。

グローバルサステナビリティ規制対応における日本企業の課題

組織を対象にした法定開示				製品を対象にしたサステナビリティ規制			
国内SSBJ	欧州CSRD	米国SEC	...	バッテリー規則	エコデザイン規則 (ESPR)	炭素国境調整措置 (CBAM)	...
広範で膨大なESGデータ収集・管理 グループ会社、バリューチェーンから、広範で膨大なESGデータ（従来の任意開示の数倍のデータポイント）の収集・管理が求められる				厳格化する第三者保証への対応 グローバル規制においては、開示・報告内容に対し第三者保証が求められており、厳格化の流れにある。			
相互運用性を考慮した開示オペレーションの効率化 各開示規制の複雑で異なる要件・形式での開示に対し、ESGデータの相互運用性を考慮した開示オペレーションの効率化が必要				ESGデータの企業価値への転換 規制対応で収集・管理しているデータや実施している対策を企業価値に転換し経済的なリターンを担保する必要がある			

Zeroboard x デロイト トーマツ アライアンスの提供価値

Zeroboard



Zeroboard

Zeroboard for batteries

Zeroboard ESG

Zeroboard CFP

Dataseed SAQ

Zeroboard for the PCAF Standard

etc

各法定開示・フレームワークに対応したPlatformの開発・提供

- 各開示要件に準拠したデータテンプレートを搭載
- フレームワーク間の相互運用性を実装
- ガバナンスを効かせたデータ収集ワークフロー
- バリューチェーンの製品カーボンフットプリント算定やESGデータ収集を実装

デロイト トーマツ リスクアドバイザー

■サステナビリティへの深い理解

- サステナブル経営の重要性の高まり
- 2050年カーボンネットゼロへのロードマップに対するモニタリング機能
- ISSB、CSRD等によるサステナビリティ開示基準の動向
- 入力・チェック・修正・確定・開示までの現場実務への理解
- 今後求められる内部統制や決算自動化のノウハウ
- 中期経営計画の中長期目標に対する実績モニタリング機能

■オペレーションへの深い理解

サステナビリティ

オペレーション

テクノロジー

■デロイト トーマツの コアコンピテンツ

- サステナビリティ、オペレーション、テクノロジーいずれにも深く精通したプロフェッショナルによる連携
- 経営管理の高度化、事業戦略策定を含むCCxOアジェンダへの取組
- 導入ではなく、実践的活用をゴールとしたITシステム導入の経験値
- 承認関係や社内オペレーションを考慮した機能要件定義

■テクノロジーへの深い理解

Zeroboard製品を活用したESGデータドリブン経営の提供

- Zeroboard製品の導入・運用に向けた支援と業務オペレーションの効率化
- Zeroboard製品に蓄積されたデータを活用した企業価値向上に向けたアドバイザー
- 第三者保証取得を見据えたアドバイザー支援

本提携を通して、当社は前述の課題解決を支援する製品の開発・提供を行い、デロイト トーマツは同製品を活用した ESG データドリブン経営のアドバイザーを行っていきます。両社はゼロボード製品をデータ基盤として位置づけ、各規制対応や第三者保証取得に向けたゼロボード製品の導入・運用・業務オペレーション構築や、蓄積されたデータの企業価値転換を支援していきます。本提携により、グローバルで乱立するサステナビリティ規制への効率的で本質的な対応を包括的に支援してまいります。

(※) 各開示要件を基に当社にて試算

■ デロイト トーマツ リスクアドバイザー合同会社について

デロイト トーマツ リスクアドバイザーは、クライアントが適切にリスクテイクし、的確に経営上の課題に対応するためのサービスを幅広く提供することで、クライアントの持続的な成長に貢献します。また、それを実践するために、クライアントの経営課題を解決する社会全体の基盤である「専門家の社会インフラ」となることを使命としています。

■ 会社概要

社名 : 株式会社ゼロボード | Zeroboard Inc. (<https://www.zeroboard.jp/>)

所在地 : 東京都港区三田三丁目 5-27 住友不動産東京三田サウスタワー10 階

代表者 : 代表取締役 渡慶次道隆

設立 : 2021年8月24日

事業内容 : ESG 関連データの収集・管理・開示支援の総合クラウドソリューション「Zeroboard Sustainability Platform」の開発・提供/サステナビリティ経営に関するコンサルティング/ユーザーコミュニティ「All Aboard!」の運営

■ Zeroboard Sustainability Platform の概要

ESG 関連データの収集・管理・開示支援の総合クラウドソリューションです。豊富なプロダクトラインナップによって、ESG 開示をはじめとするサステナビリティ経営に必要なプロセスをシームレスに支援します。

- GHG（温室効果ガス）排出量算定と環境項目管理クラウドサービス「Zeroboard」
- ESG 法定開示クラウドサービス「Zeroboard ESG」
- バイヤーからサプライヤーに対する SAQ（Self-Assessment Questionnaire・自己評価アンケート）の収集・管理を効率化するクラウドサービス「Dataseed SAQ」



これらのプロダクトを中心に業界特化型のプロダクト、各種オプション機能、制度対応や複雑な算定のためのコンサルティングを提供し、企業のサステナビリティ経営を支援しています。

【企業向けウェビナー開催中】

当社では、脱炭素経営のための企業向けウェビナーを毎月開催しています。国内外の脱炭素の最新動向や、「Zeroboard」をはじめとした各種ソフトウェアの活用方法などを解説しておりますので、ぜひお申し込みください。詳しくは当社ウェブサイトのイベントページをご覧ください。

【本件に関するお問合せ先】

各商品・サービスについて（営業本部）sales@zeroboard.jp

報道やご取材について（広報）pr@zeroboard.jp